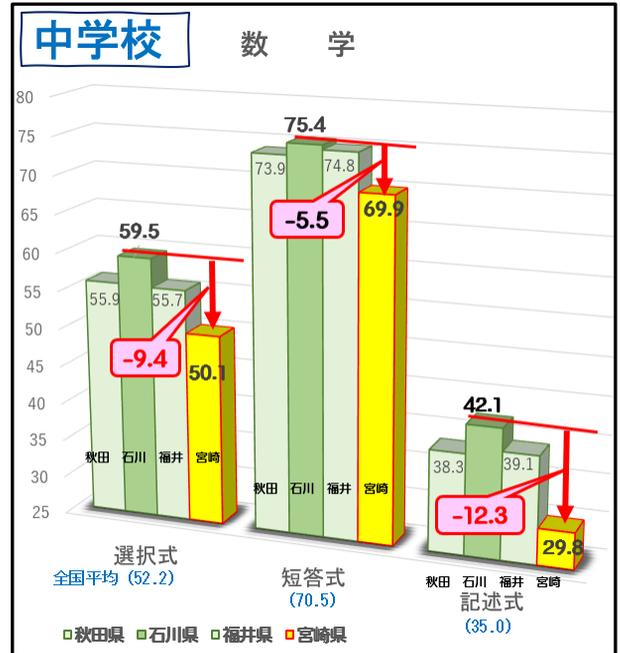
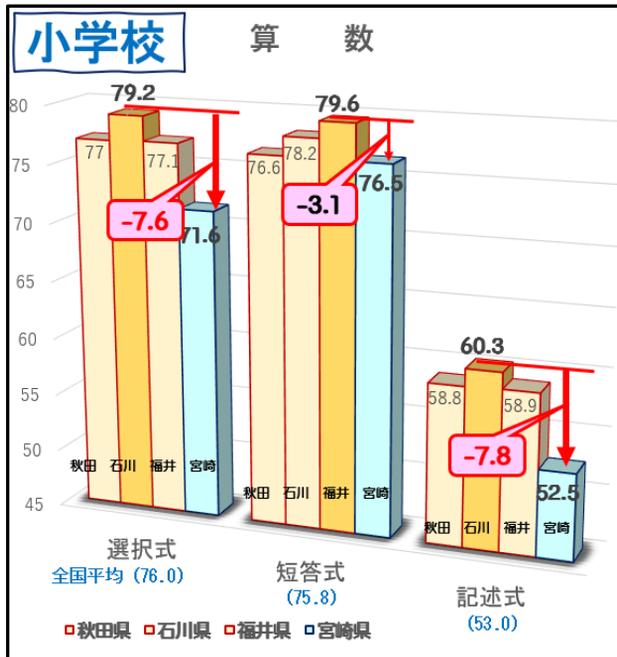


新年度に向けて、「学びの確認」の徹底をお願いします!!

「学びの確認」とは、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力が、1年間の授業等を通して、どの程度身に付いているかを把握したうえで、補充指導や個別指導につなげていくものです。

さて、下のグラフは、令和3年度の全国学力・学習状況調査における、算数と数学の「選択式」、「短答式」、「記述式」の正答率の、全国上位3県と宮崎県の比較を示したものです。

(なお、このグラフは、中部教育事務所のHPに小・中学校の国語も掲載されております。)



この結果を見ると、記述式や選択式の落ち込みが目立ちます。特に記述式の問題に対する苦手意識は、何年も前から指摘されており、やはり、図やグラフを読み取って、自分の考えを表現する力を身に付けさせる、授業や取組が必要です。

以下は、諸調査で、成果を上げている小・中学校の取組の事例です。

- ・ めあてに「なぜ?」、「どうして?」、「どのように?」の言葉を使い、疑問をもたせる工夫
- ・ 図や表、グラフから読み取れる情報を取捨選択する機会の設定
- ・ 考えの根拠を示しながら表現する場面の設定
- ・ 1人1台端末を活用して、プレゼンテーションにまとめ、説明する活動の設定

今年度も残すところ1か月余りとなりました。先日の「みやざき小中学校学習状況調査」の結果を基に、分析をしっかり行ったうえで、「学びの確認」として、これまでの調査問題を何度か児童生徒に解かせる等、調査問題を積極的に活用してください。本通信の11月号にも掲載しておりますが、中部教育事務所では、「単元プリント」を作成し、HPからダウンロードできるようになっています。「今、求められる学力」を児童生徒にしっかりと身に付けさせたいと、次の学年、学校に送り出していきたいと切に願っております。